

旧南豆製氷所保存を

応援団事務局長

英みどり

今、下田から市内唯一の国登録有形文化財が失われようとしています。5年前に登録された旧南豆製氷所は大正末期から80年間も下田の水産業を支え続けた「まち遺産」です。

が計画を断念したため建物を近々解体する予定です。市民が保存運動を展開

が計画を断念したため建物を近々解体する予定です。

4年前に所有者の意向で市民が建物の管理運営から退いてからは完全に閉鎖され、有志

ク構想に照らせば、建物そのものが「ジオスポット」に値します。本紙も報じているように南伊豆町のピタ

を訪れる国内外の産業遺産ファンを南伊豆地域へ誘致する呼び水としても活用できるのではないのでしょうか。

か、新たに購入してくださる方はいないものか。有志がささやかな働きかけを続けています。来年の建造90周年

文化財を失わずにすむよう、皆さまのお力添えをお願いします。活動報告ブログへ<http://nanzu.exblog.jp>

伊豆石のまち遺産

建造90年
ジオで活用

下田市も当初は市民の財産として購入・活用する方針でした。市が購入するまでの期限付きで購入した現所有者は、2008年に市

開いていた頃の南豆製氷は徐々に住民や観光客の交流の場となり、建物は毎晩ライトアップされ下田の夜景に彩りを添えています。

が時折、周辺の雑草を刈るだけで建物は劣化の一途をたどってきました。

観光収入を得る道が開けるのではないのでしょうか。

は世界遺産に認定されるでしょう。その時に気付いても遅いのです。

所有者の方に解体を思いとどまっていただけないものか、下田市や静岡県に保存を検討

市内唯一の国の登録有形文化財で、取り壊しの危機にある「旧南豆製氷所」=下田市一丁目

寄稿

今は暗い川辺にひっそりとたたずんでいます。

からの贈りもの”と考

す。南豆製氷は反射炉

す。



市内唯一の国の登録有形文化財で、取り壊しの危機にある「旧南豆製氷所」=下田市一丁目